

令和3年（2021年）4月1日

山形の魅力を学生目線で発信「やまがた学生情報局」 ～山形に関わるすべての大学生のための情報サイトを開設～

【本件のポイント】

- 山形大学の学生が中心となり、大学生が山形を味わい尽くすための情報を発信するwebメディアを2020年12月より開始。
- 山形県全域の魅力を学生目線で発信することで、地域社会と学生の交流を生み、地域の活性化を目指す。
- 地域の企業とも提携。「やまがた学生情報局」読者限定の割引などのサービスを受けることができるキャンペーンも実施。



【概要】

山形大学の学生が中心となり、2020年12月にwebメディア「やまがた学生情報局」を開設しました。これは、「山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム」^(※1)において、ビジネスや起業・チーム作りについて学んだ山形大学の学生2名でスタートしたもので、山形に関係のある県内外の大学生や高校生ら総勢30名（2021年4月現在）が記事を執筆し、企画・運営しています。「山形の大学生に山形の魅力を味わい尽くしてほしい」という願いから、若者の視点で紹介する県内の観光スポットや大学生向けイベント情報を掲載・紹介しているほか、割引などのサービスを受けることができるように山形県内の企業と提携し、学生が地域との交流を深める機会となるよう、様々なコンテンツを用意しています。

【背景】

山形に進学した大学生が山形の魅力に気づかないまま学生時代を過ごして、県外に就職して出て行ってしまふことに対して疑問を感じ、山形の魅力を学生目線で発信することで、山形で学び、卒業しても地域に関わり続ける人を増やして、山形を盛り上げ続けたいという想いがありました。

【やまがた学生情報局について】

掲載情報：新入生向けキャンパスライフ・サークル紹介・新生活応援（一人暮らし向けのお役立ち情報等）・県内各大学の学部学科紹介、就活関連（先輩学生の体験談）・デートスポット、学生イベントなど有益な情報を随時更新しています。

対 象：山形県内の高校生、大学生、山形から上京したい学生、他県から山形に来る学生など

運営メンバー：山形大学、米沢女子短期大学、東北芸術工科大学、早稲田大学の大学生、高校生 総勢30名

【企業提携の一例】

米沢市にある「白布温泉 東屋」では、「やまがた学生情報局をみた」と伝えると日帰り入浴料金を200円引きで提供していただけます。参考：<https://live-yamagata.info/place/yamagata-pref/yonezawa/1883/>

【今後の展望】

山形のすべての地域の情報を学生目線で発信し伝えていくことで、山形の大学生に対して様々な価値を提供したいと考えています。各大学のサークル情報をはじめとして、飲食店、温泉、レジャー施設に関する情報をすべて網羅し、山形に来てよかったと言えるきっかけとなるメディアづくりを目指していきます。

※用語解説

1. 山形大学EDGE-NEXT人材育成プログラム：山形大学は、2017年度より早稲田大学を主幹機関としたEDGE-NEXTコンソーシアムに、東京理科大学、滋賀医科大学、多摩美術大学とともに参画し、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業」プログラムを始めました。「地域連携起業家育成教育プログラム」「起業家育成教育プログラム（基礎編）」「起業家育成教育プログラム（実践編）」の3つのプログラムがあり、学生と企業が連携して取り組むことによる相乗効果も特長の一つです。